

令和7年1月吉日

各 位

拳正会チャレンジカップ 大会委員長 平川 秀樹
拳正会チャレンジカップ実行委員会

第4回拳正会チャレンジカップ開催について

謹啓 時下先生方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、来る3月30日に【第4回チャレンジカップ】が開催される運びとなりました。
今大会は、参加条件を全国大会など上位入賞経験者以外でかつ緑帯以下の選手と限定した
大会であることから、試合経験を積む機会としては勿論のこと、勝つ喜びを一人でも
多くの選手に知って頂く事を趣旨、目的とし開催されます。
また、毎年各連盟により開催されております大会とは違い、広告を集めず参加費のみ
での開催となりますので、プログラムをはじめ記念品等、各大会とは差異があることを
あらかじめご理解頂き、各道場で、大会の目的・趣旨をしっかりと募集時にご説明
頂きます様よろしくお願い申し上げます。
最後に継続した大会となります様に奮ってご参加頂きます様かさねてお願い申し上げます。

謹白

記

大会日時 令和7年3月30日（日）午前10：00～

大会会場 門真市民プラザ体育館
門真市大字北島546 （TEL 072-887-6682）

以上

第4回拳正会チャレンジカップ募集要項

- 大会日時 令和7年3月30日（日）午前10:00～
- 大会会場 門真市民プラザ体育館 門真市大字北島546 (TEL 072-887-6682)
- 参加資格 過去3年間の全国大会で3位以上、または各大会（門空連主催等）優勝の実績がない緑帯以下の道場生。
（但し過去のチャレンジカップ優勝者を除く）
型（幼児含む）のみ上位入賞実績であれば、組手のみ出場可能。
組手のみ上位入賞実績であれば、型のみ出場可能。
- 大会種目 型・基本の部
帯別にて募集します。
人数が多い場合は学年にて分ける場合があります。
・ 白帯、水帯 : 四股突10本
・ 黄帯、紫帯、緑帯 : 拳手法
- 組手の部
学年別にて募集します。
参加人数により、上下学年との統合や帯別、身長別に分ける場合があります。
各試合1分30秒一本勝負。延長無し。
※ 最低実施人数 2名
- 参加費 型、または組手のみ出場 ￥2,000
型、組手2種目出場 ￥3,000
- 参加申込締切 **3月2日必着**
添付フォーマットにて保田までメールでお知らせください。
準備期間の都合上、締切後の申込は受け付けることが出来ませんので
ご了承下さい。
email bwz07492@nifty.com FAX 072-885-7822
- お支払について 今大会より事前振込となります。
3月7日厳守でお願いします。
振込先
ゆうちょ銀行四一八支店 店番418 普通預金4697932 拳正会空手道連盟
(ゆうちょ銀行からは)
記号14140 店番418 番号46979321 拳正会空手道連盟

令和7年1月吉日

保護者の皆様へ

拳正会チャレンジカップ 大会委員長 平川 秀樹
拳正会チャレンジカップ実行委員会

第4回拳正会チャレンジカップ開催について

平素は本連盟の発展に多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、この度初心者でも参加できる大会としてチャレンジカップを開催する運びとなりました。
つきましては、下記の通りご案内申し上げますので多数ご参加の程、よろしくお願い申し上げます。

記

日	時	令和7年3月30日（日）午前10:00～
場	所	門真市民プラザ体育館 門真市大字北島546（TEL 072-887-6682）
参加資格		過去3年間の全国大会で3位以上、または各大会で優勝の入賞実績がない緑帯以下の練習生

以上

○ 大会の注意事項

- ① 各自持ち物にはハッキリと名前を書いて下さい。（防具についても同様に明記して下さい。）
- ② 各道場で団体行動をとり、単独行動をする場合は必ず各道場の師範又は師範代の方の了承を得て下さい。
- ③ 家を出たときから大会は始まり、家に帰り着いて大会は終了します。会場までの交通には十分注意し、時間に余裕を持って行動して下さい。
- ④ 昼食は各自でご持参下さい。
- ⑤ ゴミ等は必ず各自でお持ち帰り願います。試合会場で捨てないようにして下さい。
- ⑥ わからないことが御座いましたら各道場の館長、師範までご相談下さい。
- ⑦ 空手道大会に出場する選手として、ふさわしい行動を心掛けて下さい。
- ⑧ お履き物は、ビニール袋等を用意して頂き、各自で保管をお願い致します。

大会誓約書、申込書の氏名、住所、電話番号等の個人情報、大会実行委員会が本大会のみに使用し、それ以外では一切の使用を致しません。

自然災害など、やむを得ず大会を順延または中止する場合があります。

第4回拳正会チャレンジカップ申込書

拳正会チャレンジカップ実行委員会 殿
下記のとおり参加費を添え申し込み致します。

道場名：		男・女	身長 cm	帯色
氏名	カガナ			
種目 (種目名左に○を ご記入下さい)	一般男子組手之部	一般女子組手之部		
	壮年(35歳以上)男子組手之部	壮年(35歳以上)女子組手之部		
	高校生男子組手之部	高校生女子組手之部		
	中学2・3年生男子組手之部	中学2・3年生女子組手之部		
	中学1年生男子組手之部	中学1年生女子組手之部		
	小学6年生男子組手之部	小学6年生女子組手之部		
	小学5年生男子組手之部	小学5年生女子組手之部		
	小学4年生男子組手之部	小学4年生女子組手之部		
	小学3年生男子組手之部	小学3年生女子組手之部		
	小学2年生男子組手之部	小学2年生女子組手之部		
	小学1年生男子組手之部	小学1年生女子組手之部		
		選手参加費 型または組手のみ ￥2,000 型、組手2種目 ￥3,000		
	白帯の部			
	水帯の部			
黄帯の部				
紫帯の部				
緑帯の部	金額： 円			

※ 参加人数により組手については上下学年と統合する場合があります。

第4回拳正会チャレンジカップ誓約書

拳正会チャレンジカップ実行委員会 殿

今般 第4回拳正会チャレンジカップに出場するにあたり試合中又は交通事故等不慮の事故が発生しても一切の異議申し立ては致しません事をここに誓約致します。

令和7年 月 日

選手名

保護者名

印

試合規定 (抜粹)

組手試合

- 1 攻撃の部位
攻撃の部位は次の如く定める。
①頭部 ②顔面部 ③頸部 ④腹部
- 2 攻撃の禁止事項
競技における攻撃の禁止事項を次の如く定め、違背者は「反則負け」とする。
但し軽微の違背者に対しては、「警告」または「反則注意」にとどめる。
①股間部への攻撃 ②関節部への攻撃 ③防具のない部位への執ような攻撃 ④体当たり技
⑤関節技 ⑥体力または腕力を利用した強引な投げ技
⑦継続的な組合い ⑧気合い以外の人格を無視するような言動
⑨競技に関連しない時間の浪費
- 3 一本の判定基準
1本は次のいずれかによって判定される。
①正しい姿勢、攻撃時の適正なる間合い保持、残心充実せる気力で正確な攻撃目標把握、
強力な攻撃が、競技規定に明示された部位に正確に決まった場合。
②瞬間的な投げ、その直後①の適する場合。
③1本に近い攻撃有効打(技有り)が二回有った場合。
- 4 優劣の判定基準
優劣の判定基準を次の如く定める。
①技有りの有無 ②気力、戦意の強弱 ③技術の優劣
- 5 反則の基準
2の他、次のものに対し準用する。
①「反則注意」宣告を3回受けた場合 ②「無防備注意」宣告を3回受けた場合。
- 6 失格の基準
失格の基準は、次の如く定める。
①競技の継続を、拒否または放棄したもの。
②競技会の指定医または看護師から、競技の継続を禁止された場合。
③審判の判定を不服とし、審判員に直接抗議した場合。
④競技中、主審の指示に従わない場合。⑤指定時間内に、入場しない場合。
⑥「場外注意」宣告を4回受けた場合 ⑦競技出場者が、出場不可能となった場合。
- 7 場外の基準
場外の基準は、競技者のどちらかの足が競技場の外側線を出た場合とする。
但し、不測の自転により体位が競技場の外側線を出たと認定された場合は、これを除く。
- 8 無防備の基準
無防備の基準は、競技者が相手の攻撃に対し故意に正当な防御体制を整えない場合を
さすものとする。
- 9 競技における勝敗の判定基準を次の如く定める。
①1本を先に取得した場合は、制限時間内であっても1本取得者を勝者とする。
②「技有り1回対技有り0回」の場合、技有り取得者を勝者とし、判定勝ちとする。
③「技有り1回対技有り1回」または、「0回対0回」の場合は、判定による。
④「場外注意」が3回に達したときは、「場外警告宣告」を受け、技有り1本を失う。
⑤「場外警告宣告」を受けた者が、更に「場外注意」をあと1回受けた場合は、更に技有り
1本を失い、1本負けとなる。
⑥「反則注意」が2回に達したときは、「反則警告宣告」を受け、技有り1本を失う。
⑦「反則警告宣告」を受けた者が、更に「反則注意」をあと1回受けた場合は、更に技有り
1本を失い、1本負けとなる。
⑧「無防備注意」が2回に達したときは、「無防備警告宣告」を受け、技有り1本を失う。
⑨「無防備警告宣告」を受けた者が、更に「無防備注意」をあと1回受けた場合は、更に
技有り1本を失い、1本負けとなる。
⑩反則、失格の違背者は、「反則負け」「失格負け」と定め1本を失う。
- 10 試合時間
1分30秒、延長無し

型試合

- 1 実施種目
白帯・央帯 四股突 10本
黄帯・紫帯・緑帯 拳手法之型
- 2 型競技の失格については次の如く定める。
A) 演武の継続性を失ったとき
B) 指定型と別種の型を演武したとき